



「人々の健康生活」の実現をめざします



vol. 33
2022.7

中支部だより

保健師	51人 (入会率33%)
助産師	125人 (入会率129%)
看護師	2,921人 (入会率64%)
准看護師	49人 (入会率 8%)
合計	3,146人 (入会率58%)

中支部長
ごあいさつ

看護の専門性を発揮し、 変化に対応した中支部活動を

広島中支部長 江原 真由美



平素より広島県看護協会広島中支部の活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。昨年度に引き続き支部長をさせていただきます。今年度は5名の役員が交代し、新たなチームで中支部活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症との闘いは長きにわたっており、今年に入りオミクロン株へと様相を変え、看護現場では様々なストレスで心も身体も疲弊している毎日ではないでしょうか。その中で、広島の花の祭典であるフラワーフェスティバルの開催、人数制限なしのカーブ観戦等少しずつではありますが、with コロナの時代に入ってきたことを実感します。このような状況下で、看護職の役割は益々高まり、地域の方々が安心して暮らせるよう情報発信し、看護の力を発揮していく必要があります。そして、あらゆる場で働く看護職が連携を

図り、地域の方々の医療と暮らしを支えているよう支部活動を進めてまいります。

昨年は、まちの保健室の再開や進路相談会、各種研修会、Webでの会議開催等、新しい方法での活動も始ま



令和4年度 役員全員集合

りました。しかし、看護研究発表会は2年続けて誌面報告となりましたこと、心よりお詫び申し上げます。今年度も、メンタルヘルスやリフレクションなど変化に柔軟に対応しながら様々な研修を企画してまいります。中支部の皆さまのご参加を役員一同お待ちしております。

★ 新役員紹介 ★



副支部長
森田 みどり
(広島通信病院)

副支部長を担当させて頂きます。分からないことが多いですが、頑張りますので、よろしくお願いたします。



幹事
奥田 直子
(たかの橋中央病院)

一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



幹事
呉山 奈津江
(広島赤十字・原爆病院)

みなさまのお力を借りて、頑張ります。よろしくお願いたします。



幹事
大庭 鈴子
(浜脇整形外科病院)

みなさんのお力になれるように頑張ります。よろしくお願いたします。



幹事
太田 恵
(広島中央リハビリテーション病院)

はじめてでわからない事が多いですが、みなさまと協力して頑張りたいです。よろしくお願いたします。

▶ 令和4年度 中支部総会

4月16日(土)中支部総会を開催しました。

3年ぶりに総会後の交流会を開催しました。「整理収納」というテーマで、江川佳代整理収納コンサルタントオフィス代表 整理収納アドバイザー江川佳代先生をお招きしました。豊かな生活を目指し、片付けしやすい仕組みづくり3つのステップ「出す・わける・(わかるように)おさめる」について学び、暮らしや職場の環境改善について考える機会になりました。自分の普段の行動から、片付けタイプ診断チェックを行い、おすすめの収納方法について知ることもでき、楽しい交流会となりました。



令和3年度 事業報告

REPORT 01

社会経済福祉研修会

「腰痛予防」

講師 浜脇整形外科病院 看護師長 平田 晶子 先生

日時／令和3年10月16日(土)
場所／広島市立広島市民病院
参加者／14名

身近な腰痛についてじっくり学ぶことができ、体を動かしながらの研修はとても楽しく身になるものでした。

いつまでも澁刺と過ごせるように、教わったストレッチを毎日の生活に取り入れ腰痛を予防していきたいと思います。

シムラ病院 山崎 真由美



研修会では、作業環境の整備やボディメカニクス・補助具の活用に加え、腰痛予防のストレッチと筋力トレーニングについても、実践を交えながら学ぶことができました。背中や大腿のストレッチはとても気持ちよくその場で効果を実感しました。働き続けながら、正しい姿勢と柔軟で若々しい身体づくりにも心がけたいと思います。

中電病院 湊 綾子



REPORT 02

組織強化研修会

「災害看護 ～こころのケア～」

講師 広島赤十字・原爆病院 副看護部長 赤十字こころのケア指導員 石富 恵子 先生

日時／令和3年11月20日(土)
場所／広島市立広島市民病院
参加者／36名



先生の災害支援活動の経験談を拝聴し、被災者への心のケアの重要性を学ぶことができました。被災者に寄り添いお話を聴き、自己決定を尊重する。そして生活再建に向けて被災者と一緒に考える。災害時にこうしたこころのケアが行えるよう、私自身の看護力を高めたいと感じました。また、支援者も支援活動においてストレスを感じやすいことも学びました。仲間同士で認め合い、励まし合える支援者になりたいと考えています。

広島市立舟入市民病院 藤本 真美



これまで、災害時の避難、救助等については学ぶ機会はありませんでしたが、被災者の心のケアについて学ぶ機会がなかったのでたいへん有意義な時間でした。講義を聞きながら、災害に遭遇した人は皆大きなストレスを抱えています。また、その被災された方に関わっていくことは支援者にも心身ともに大きな負担がかかることだと感じました。しかし、多くの看護職など医療職は被災者の支援を行うことを当たり前と考えています。今回の研修を受けて、支援する医療者も大きなストレスを抱えていること分かり、心のケアが必要なのは、被災者だけでなく、救護活動を行う支援者にも必要であることを知る良い機会となりました。

国家公務員共済組合連合会 広島記念病院 森宗 紗也

REPORT 03

関連職種研修会

「多職種で考える認知症ケアについて」

講師 広島市立広島市民病院 認知症看護認定看護師
 広島市西部認知症疾患医療センター 看護師
 広島市江波地区包括支援センター 認知症地域支援推進員 保健師
 広島市健康福祉局高齢福祉部 地域包括ケア推進課専門員 保健師
 国家公務員共済組合連合会 吉島病院 医療ソーシャルワーカー

大西 奈緒 先生
 岡田 眞理 先生
 梅田 沙貴恵 先生
 西宗 純 先生
 新居 美咲 先生

日時／令和3年12月11日(土)
 場所／広島市立広島市民病院
 参加者／73名

今回、「関連職種研修会」に参加させて頂きました。私が勤務する病棟でも認知症患者さんも多く、対応に苦慮することがあります。その中でも意思決定支援の方法に悩む場面も少なくありません。そんな時こそ、多職種が連携し患者さんを支えることの大切さを学びました。私が患者さん、家族の思いを諦めてしまわず、それを支えるために必要なサポートや人材を考え適切な職種に相談し支援していきたいと思います。



広島通信病院 大石 友紀

認知症に対する理解ととりまく施策について学びたいと思い、今回研修に参加しました。広島市の認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)を軸に認知症を早期発見し、その上で意思を尊重し、ともによりよい環境で生活ができるよう支援していく取り組みを知ることができました。

施設でも認知症を理解し、予防に対する取り組みや入所者、家族が笑顔で過ごせるような環境づくりを考え行動していきたいと思います。

介護老人保健施設 陽だまり 倉田 玲奈



REPORT 04

看護研究発表会

研究サポート・講師 広島文化学園大学 看護学部 看護学科教授 佐藤 敦子 先生

日時／令和4年3月
 発表演題7題
 (うちサポート演題 3題)

令和3年度看護研究発表会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、口演から誌面報告に変更しました。看護研究に精力的に取り組むことを通して、専門的知識と技術を創造し、看護の質向上に努めました。

演
 題

1. 急性期脳卒中患者の抑うつとFIMの関係
 医療法人翠清会 梶川病院：山田直哉
2. 2次救急施設における夜間・休日にひとりで勤務する看護師が感じるストレスの実態
 医療法人社団曙会 シムラ病院：埴患美里・広森友紀・鈴木圭子
3. 経験年数別の分析からみえた薬剤ダブルチェックの現状
 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立舟入市民病院：島田和栄・小波石ひろみ・森田真弓
4. ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺摘除術患者に対してエコーを使用した骨盤底筋群体操の指導で見えてきたもの
 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院：徳原奈穂子・遠藤和美
5. 地域包括ケア病棟における終末期がん看護の困難感
 日本郵政株式会社 広島通信病院：桂 菜央・茶園智子
6. 内服管理マップの改良
 国家公務員共済組合連合会 広島記念病院：埴末弥佐・梶田真代
7. 看護学生が抱く理想と現場でのリアリティショック
 国家公務員共済組合連合会 広島記念病院：山根未来・今村愛美

令和4年度 事業計画

令和4年9月3日(土)	救急蘇生研修会
令和4年10月15日(土)	社会経済福祉研修会(メンタルヘルス)
令和4年11月19日(土)	組織強化研修会(リフレクション)
令和4年12月10日(土)	関連職種地域連携研修会(ACP)
令和5年2月11日(土)	看護研究発表会

輝きびと
見~つけた

研修を修了してどのように看護の質向上に貢献することができるか

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 富永 駿 (写真左)
特定医療法人あかね会 土谷総合病院 鳥内 未来 (写真右)

手術室看護師の看護実践は、術中だけでなく術前・術後においても活動範囲が広がり、より専門性が求められています。この度、兵庫医科大学医療人育成研修センターにて認定看護師教育課程手術看護分野・看護師特定行為研修課程を修了しました。

特定行為研修では、医学的知識や医師の思考プロセスを学ぶことができました。医師は、臨床推論を活用し、さまざまな疾患の可能性を疑い、仮説を立てながら症状の原因となる疾患を診断治療しています。一方で看護師は、患者の思いや生活背景を含めて身体面だけでなく、精神面、社会面から治療とケアの対象として捉えています。今まで医師が行ってきた医療行為の一部を特定行為として看護師が行うことで、タイムリーな対応が可能になります。特定行為看護師の認知度や活動の範囲が広がれば、患者の安心や安楽につながる部分があると考えています。私たちは身につけた医学的知識や思考プロセスをもとに、特定行為をするだけの看護師ではなく、特定行為を活かした看護を実践していきたいと考えています。

認定看護師教育課程では、より質の高い医療を推進するため、リーダーシップを発揮し、多職種で協働することや手術看護実践を通して役割モデルを示し、看護者への相談や支援について学ぶ事ができました。例えば、手

術中の体位決定の重要な要素の一つとして、医師にとって手術操作しやすいことがあげられます。その中で手術室看護師には皮膚障害や神経障害が生じないように体位固定をすることが求められています。手術室看護として、主体的に医師と協同しこれらの障害がないように手術体位の決定を行うことの重要性を学びました。医療スタッフが、各々の高い専門性を発揮し、お互いに連携し合い患者に適切な医療を提供することが必要です。手術看護認定看護師として、手術看護実践において役割モデルを示すことで、多職種からなる手術スタッフ全員が、患者のために最善を尽くせるような周術期の環境を整えていきたいです。



編集後記

中支部だよりをお読みいただきありがとうございます。対面で人と出会う機会が少なくなったコロナ禍の今、中支部活動を通しての新しい出会いは、私にとって人との繋がりは大切だと改めて実感するものでした。会員の皆様の健康を願い、沢山の方々と出会い、繋がりたいと心から思っております。発行にあたり、協力して下さった皆様にお礼を申し上げます。

呉山 奈津江

【発行日】令和4年7月1日発行

【発行所】公益社団法人広島県看護協会 広島中支部事務所
〒730-0051 広島市中区大手町4-6-11 ミニニューカーザ310号
TEL/FAX 082-248-2500
E-mail: s-naka@nurse-hiroshima.or.jp

【発行責任者】江原 真由美